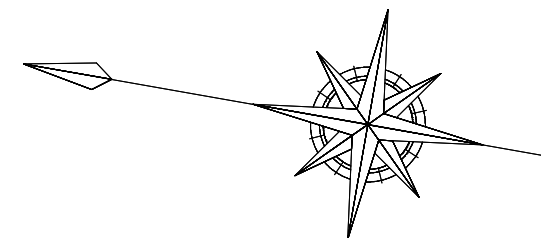


平面図

施工延長 L=107.7m



至県道坊領淀江停車場線

至稲吉

大山広域農道

路肩側溝 (標準部用) L=1.4m
路肩側溝 (乗入部用) L=4.0m
歩車道境界ブロック (乗入部用) (BSC3) L=3.9m L=4.1m
プレキャストボックスカルバート N=1箇所
転落防止柵 L=9.1m
1号プレキャストL型擁壁 L=4.0m
2号プレキャストL型擁壁 L=22.0m
重力式擁壁 L=2.0m
重力式擁壁 L=2.0m
路肩側溝 (標準部用) L=45.9m
路肩側溝 (乗入部用) L=6.2m
路肩側溝 (標準部用) L=8.9m
路肩側溝 (乗入部用) L=4.0m
路肩側溝 (標準部用) L=18.0m
路肩側溝 (フラット部用) L=12.4m
地先境界ブロック (BB3) L=44.8m
張コンクリート A=6.3m²

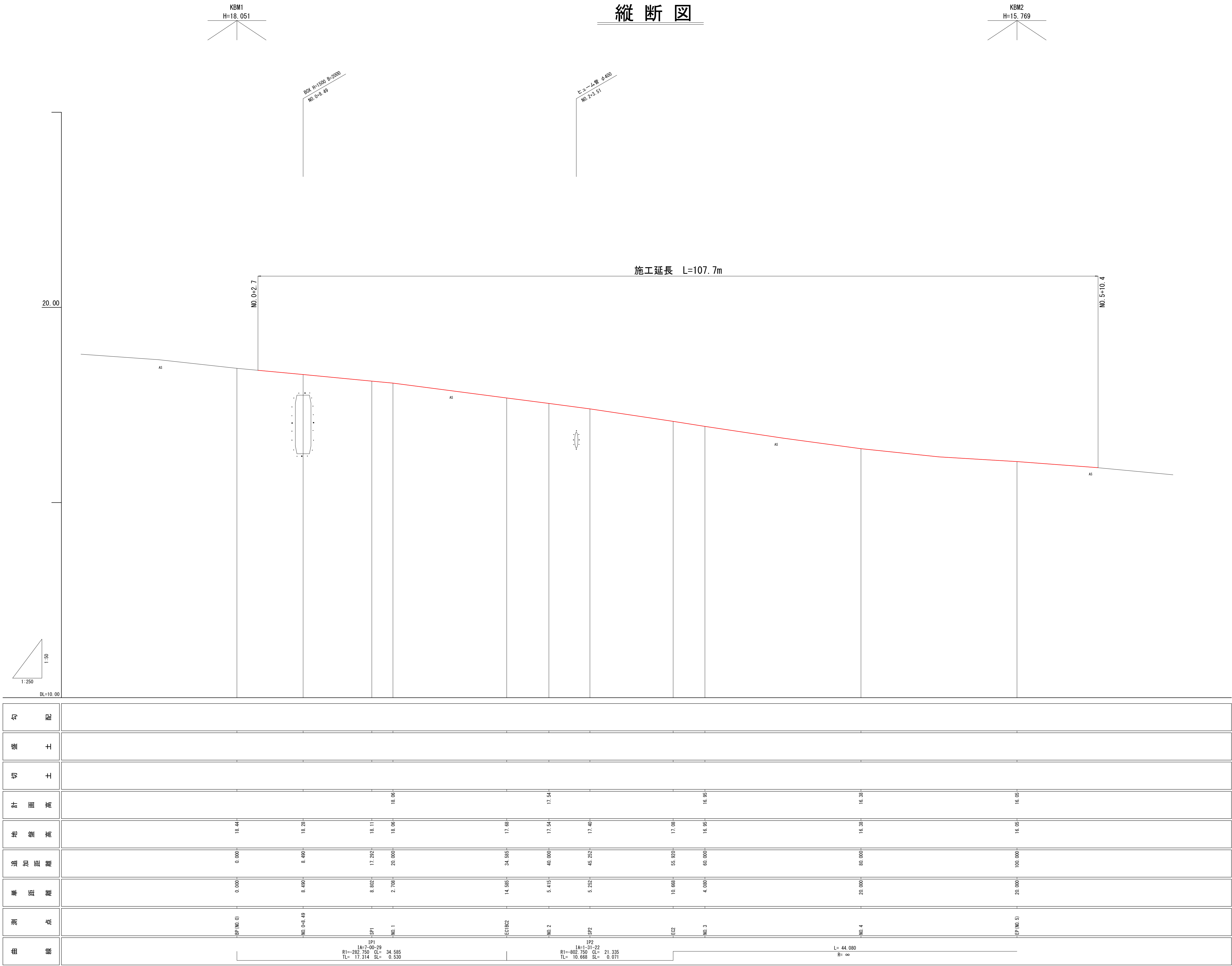
IPNO	IP1
I A	7-00-29
R	282.750
T L	17.314
C L	34.585
S L	0.530

IPNO	IP2
I A	1-31-22
R	802.750
T L	10.668
C L	21.335
S L	0.071

＜留意事項＞
・本工事に関連する、ボックスに添架している水道管の移設および祠の移設を適切に行うこと。

図面番号	第 1 号 7 枚内
工事名	大山広域農道歩道設置工事
図面名称	平面図
縮尺	1 : 250
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

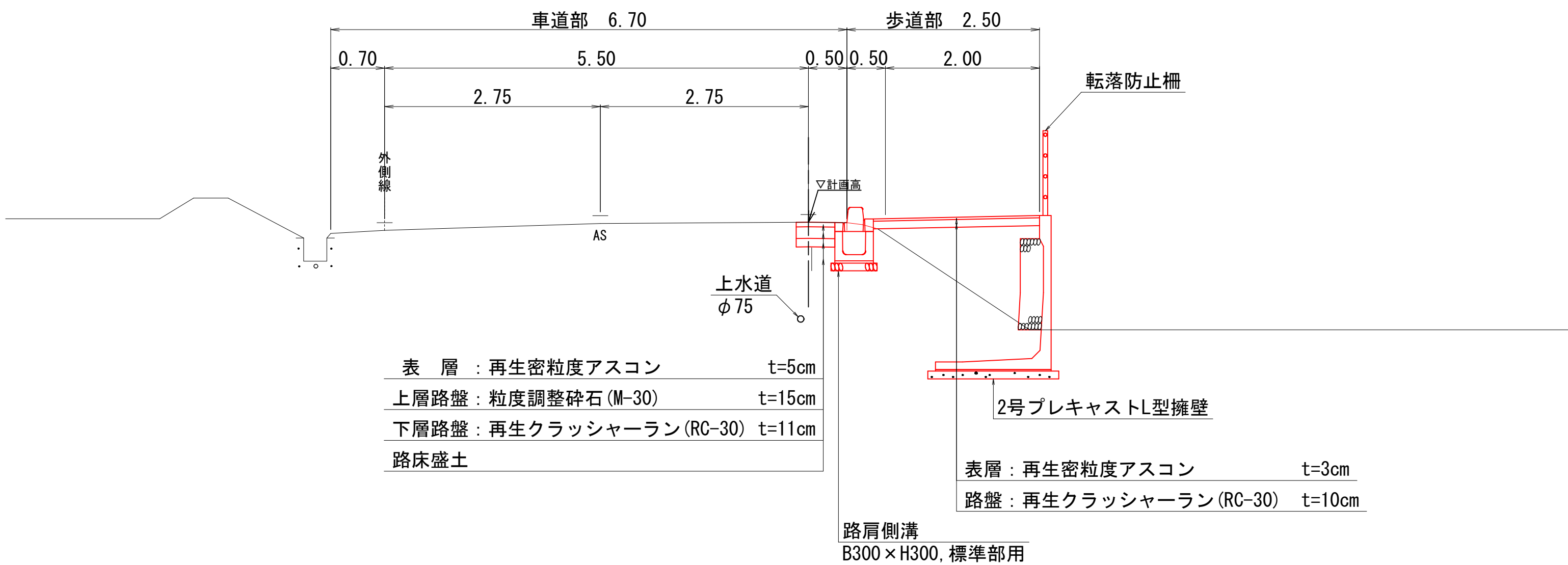
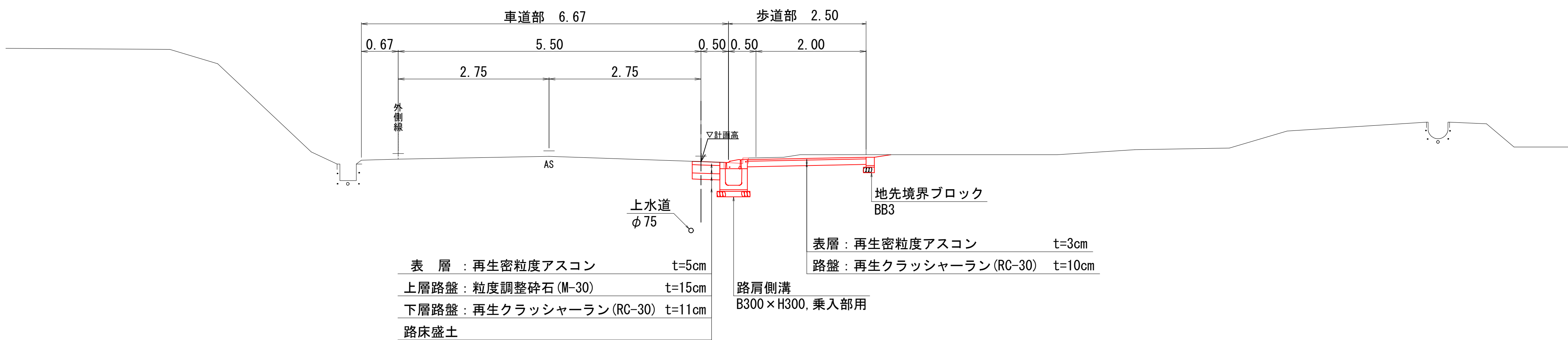
縦断図



図面番号	第 2 号 7 枚内
工事名	大山広域農道歩道設置工事
図面名称	縦断図
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

標準断面図

S=1:50



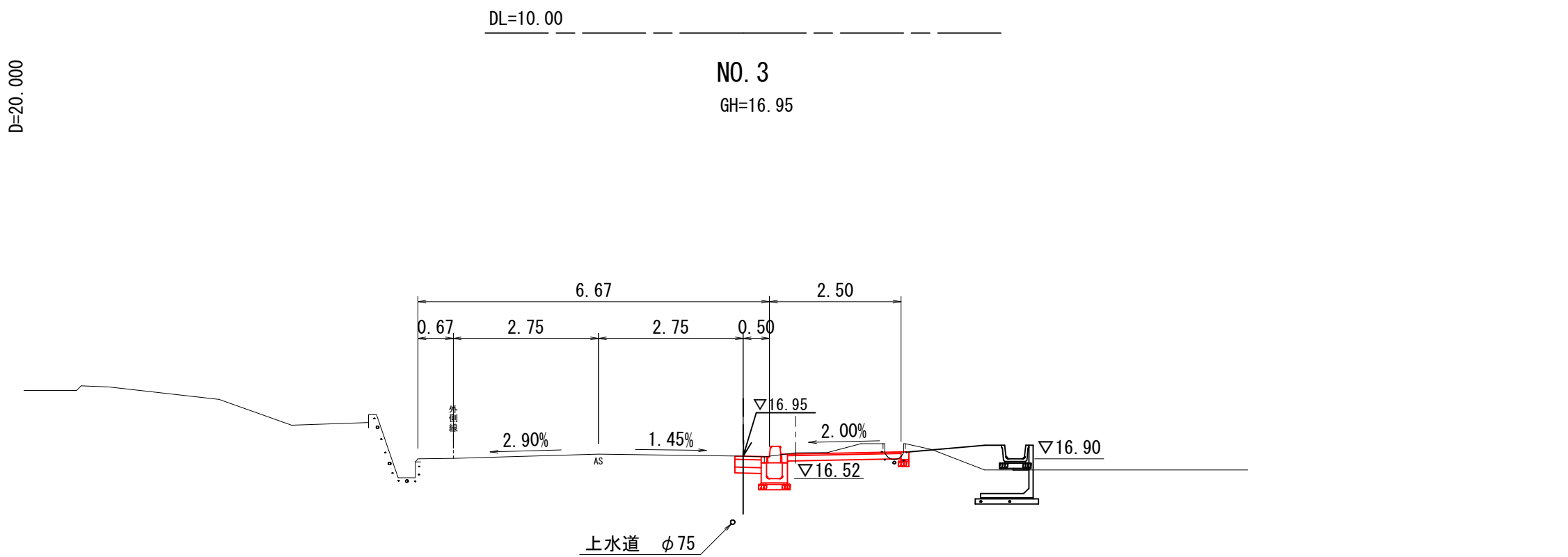
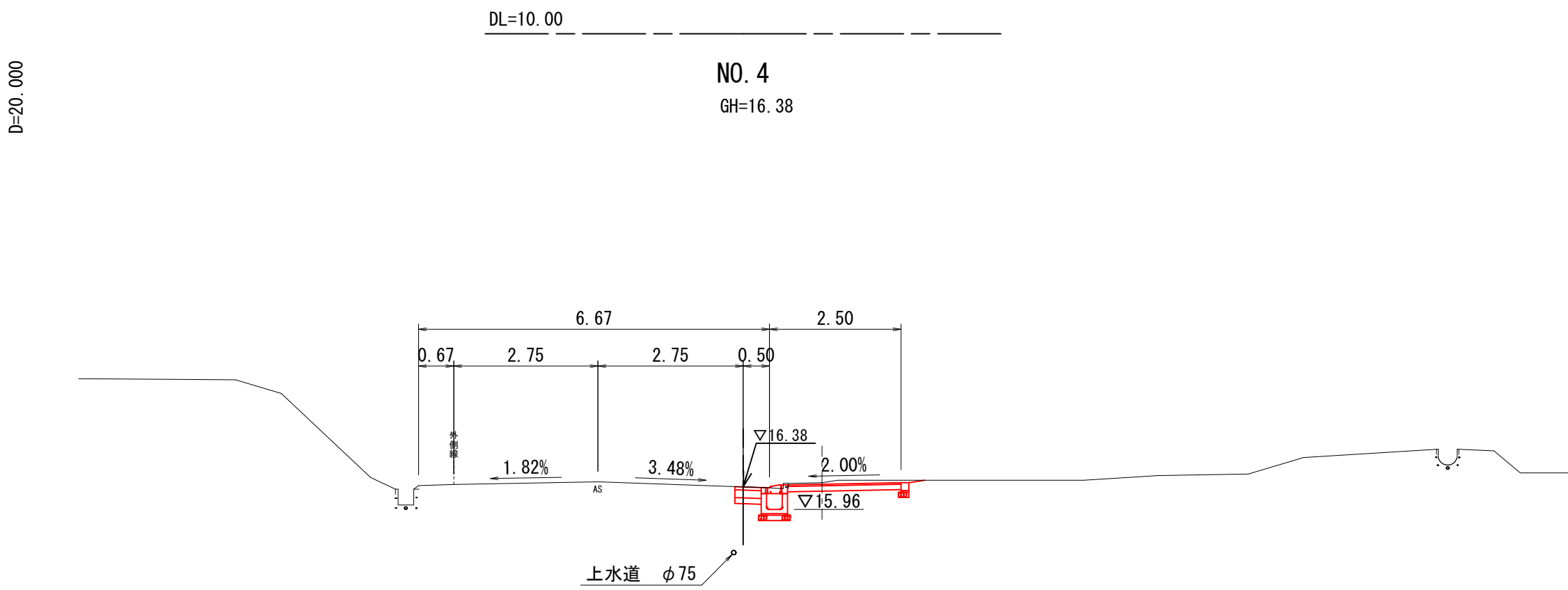
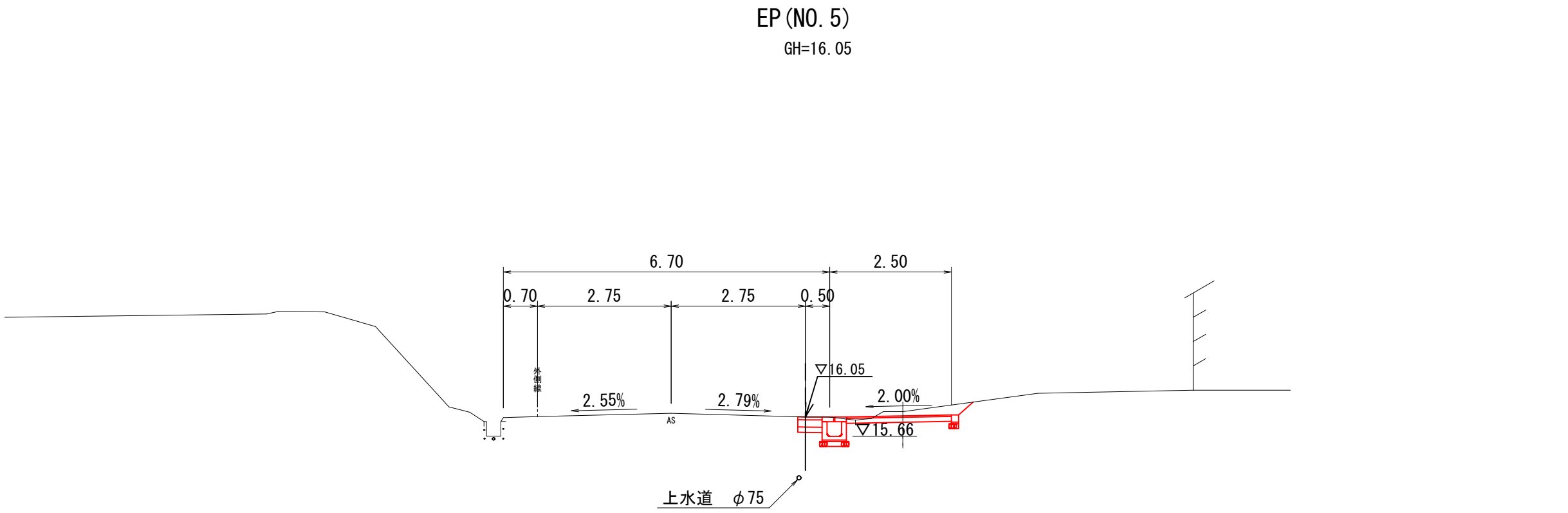
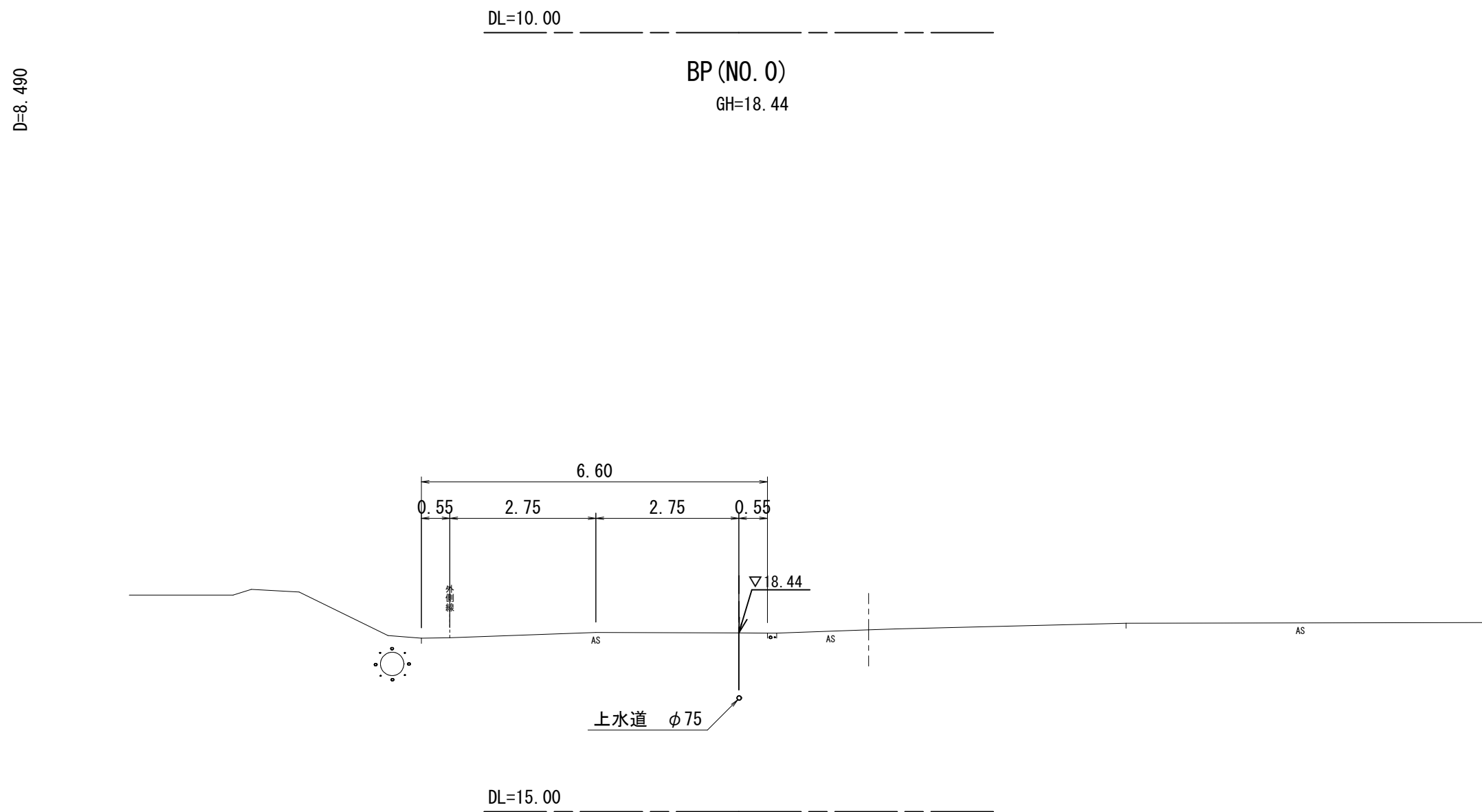
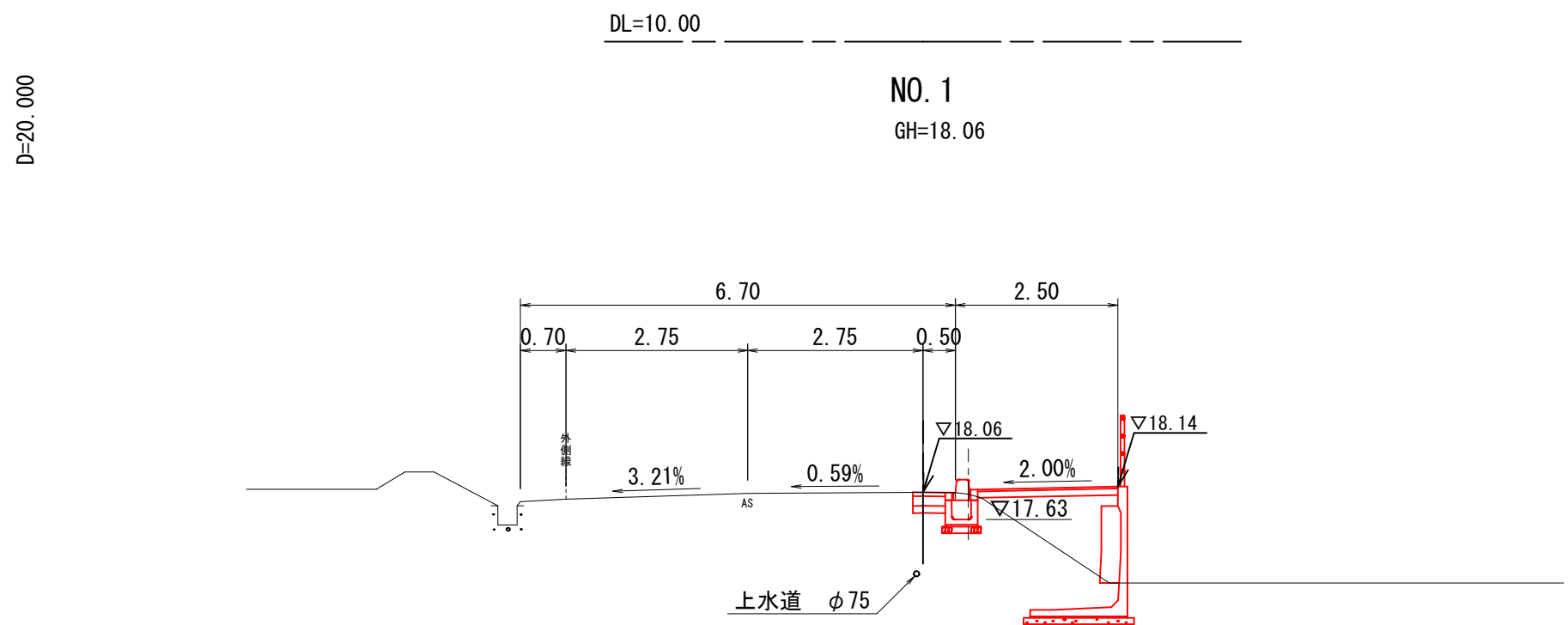
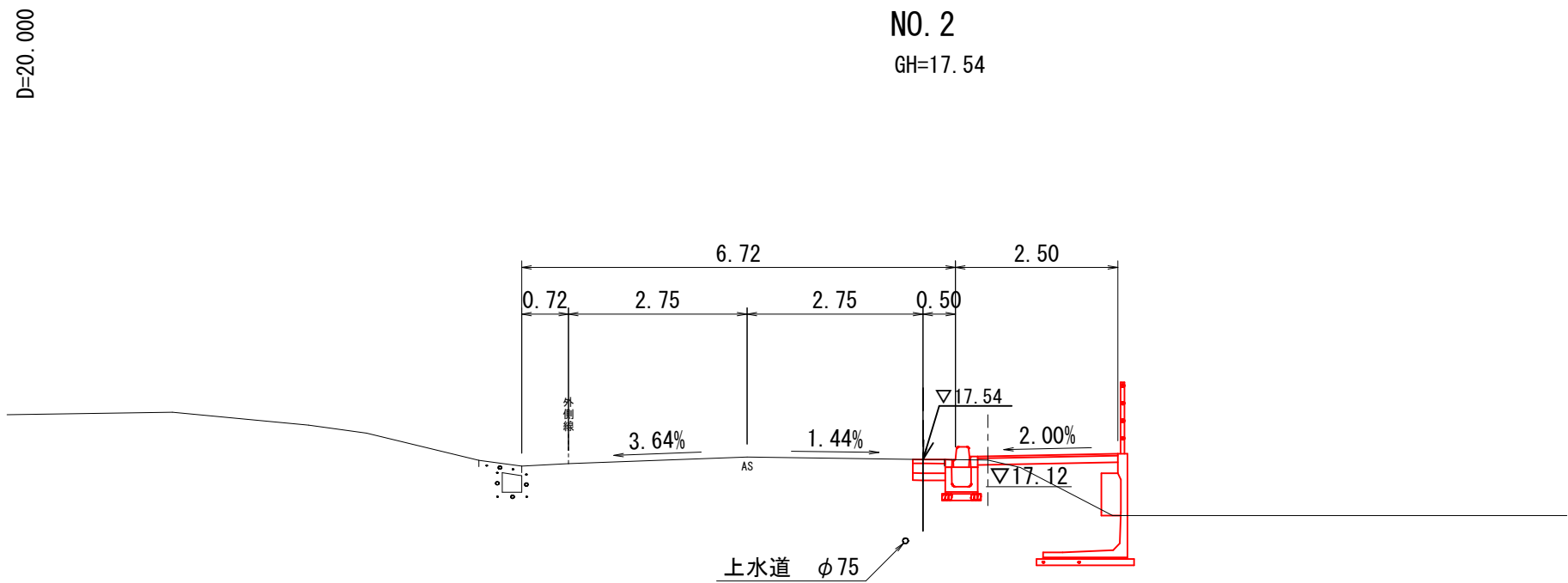
<留意事項>

- ・車道の舗装構成は、現地の舗装構成と整合を図ること。
- ・上水道管の明確な位置及び深度は不明であることから、床掘り時には留意すること。
- ・施工に際し電線に近接する場合は、電線の保護を行うこと。

図面番号	第 3 号 7 枚内
工事名	大山広域農道歩道設置工事
図面名称	標準断面図
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

横断図

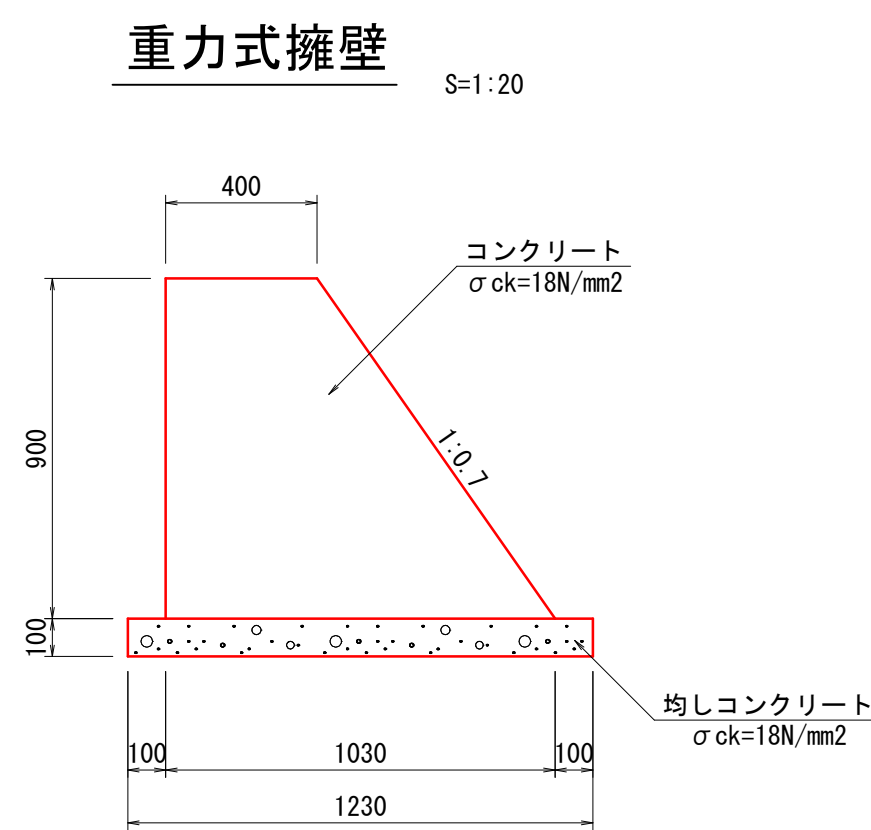
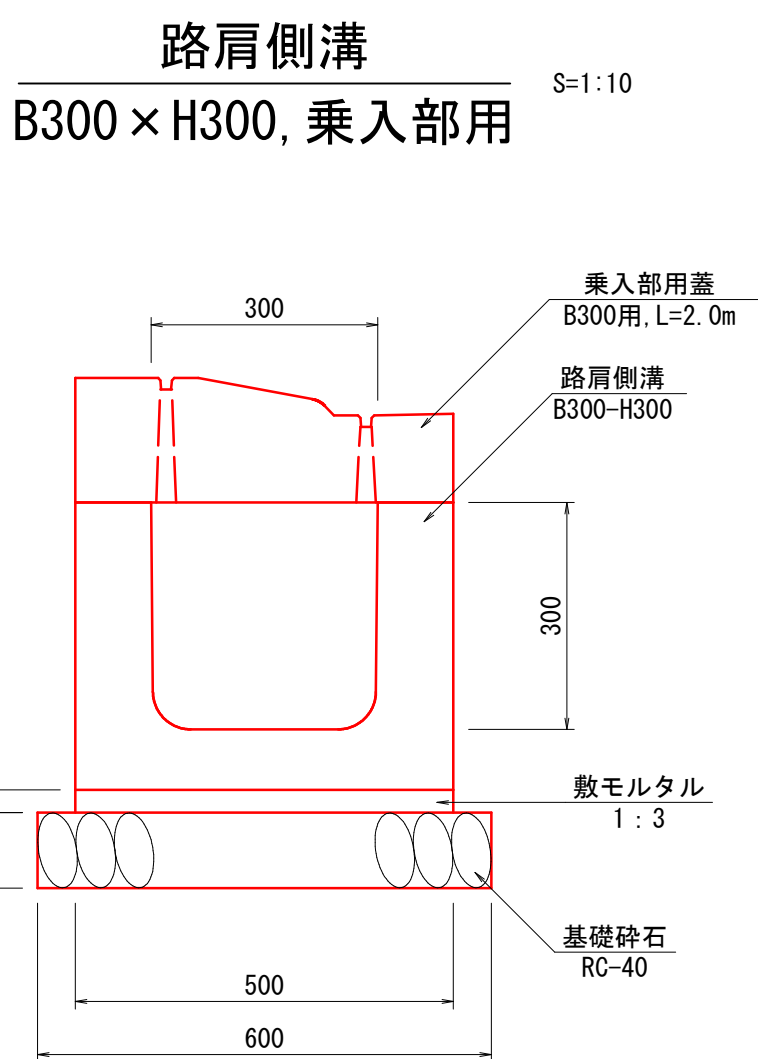
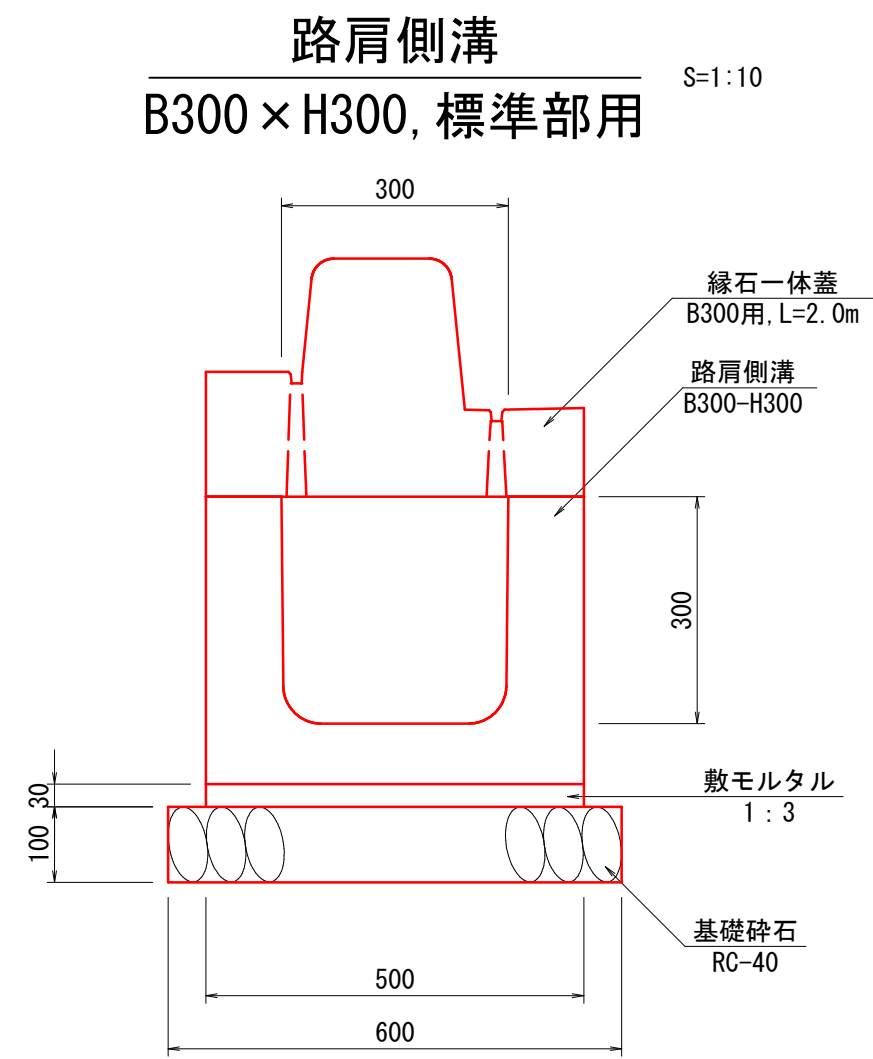
S=1:100



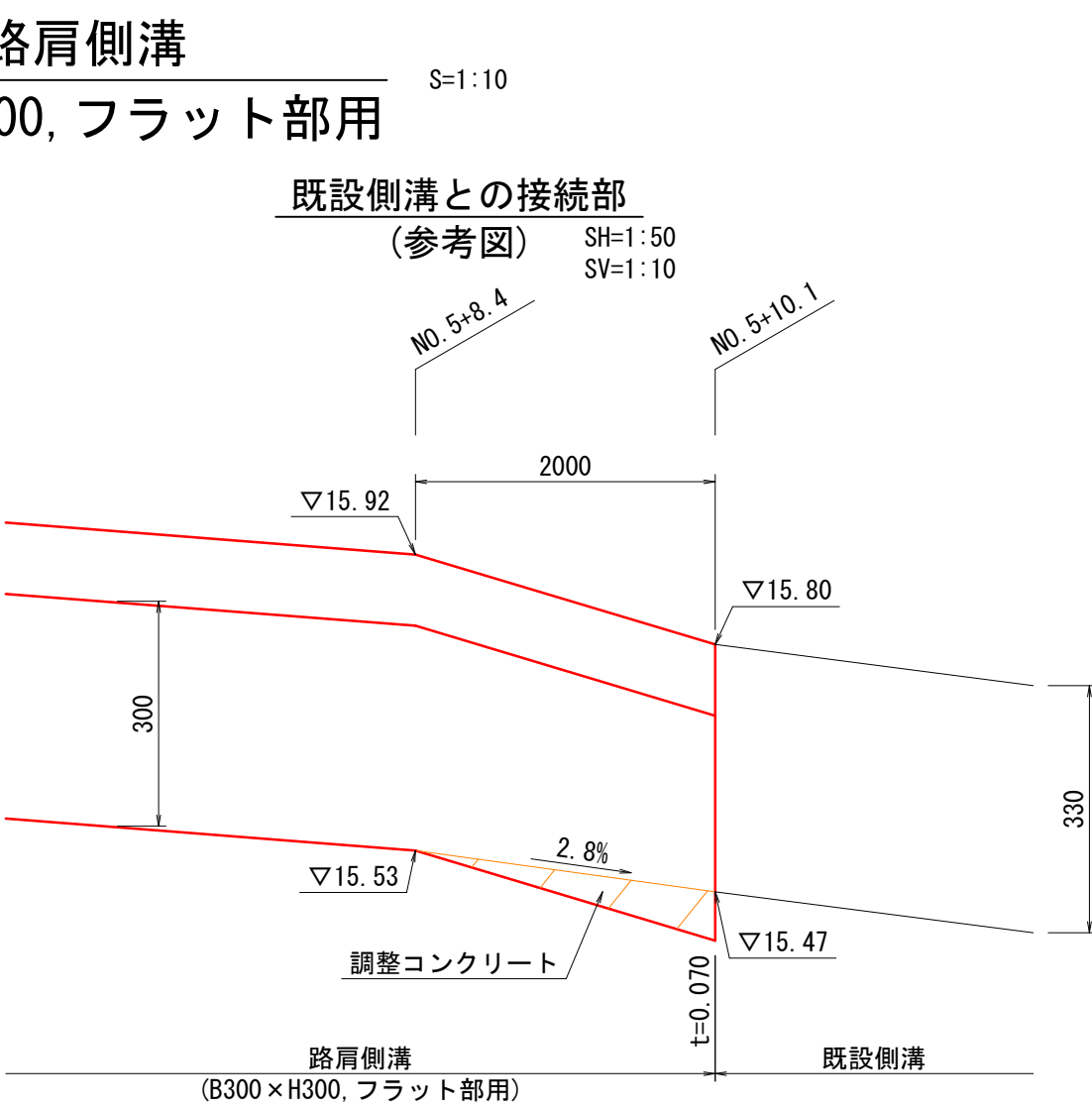
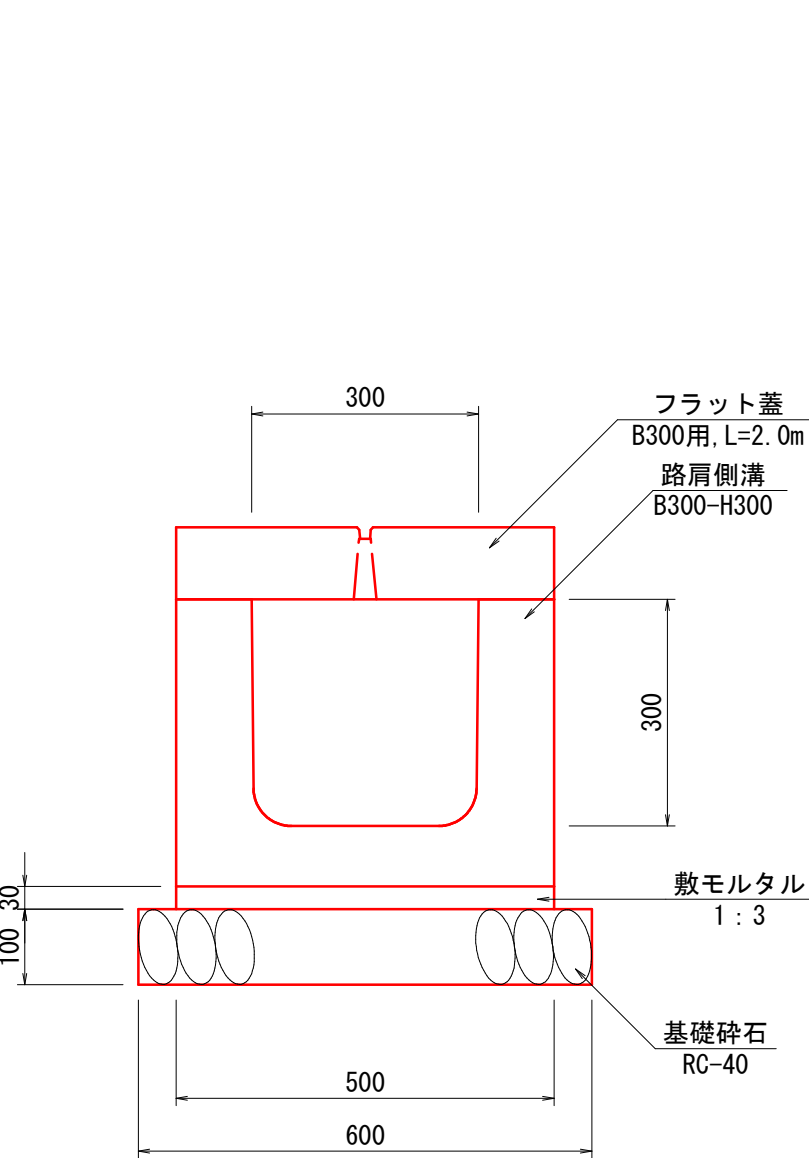
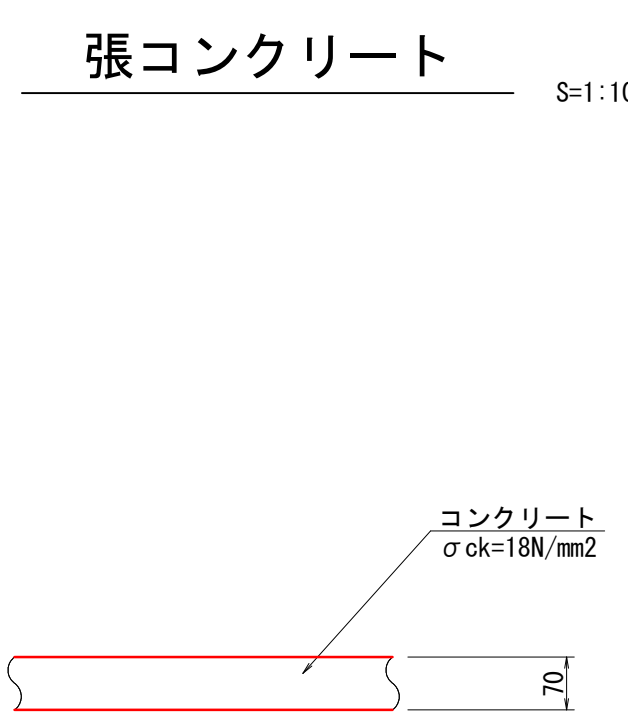
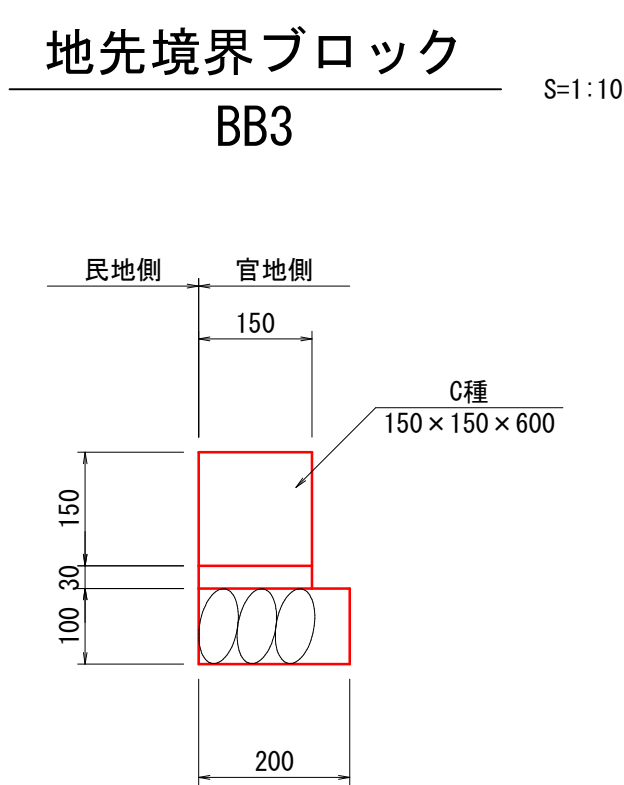
＜留意事項＞
・上水道管の位置および深さは、貸与資料からの読み取り図示である。
必要に応じ試掘確認を行うこと。

図面番号	第 4 号 7 枚内
工事名	大山広域農道歩道設置工事
図面名称	横断図
縮 尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

構造図

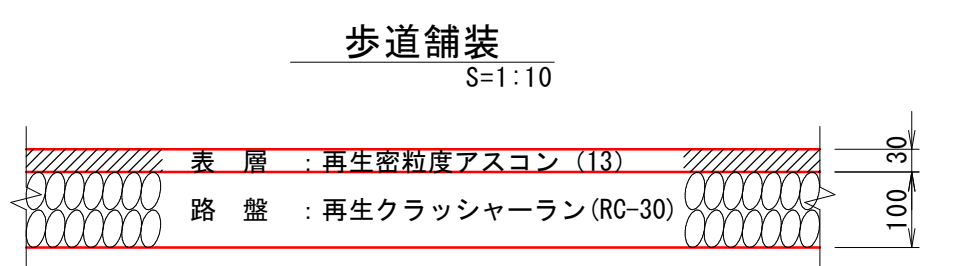
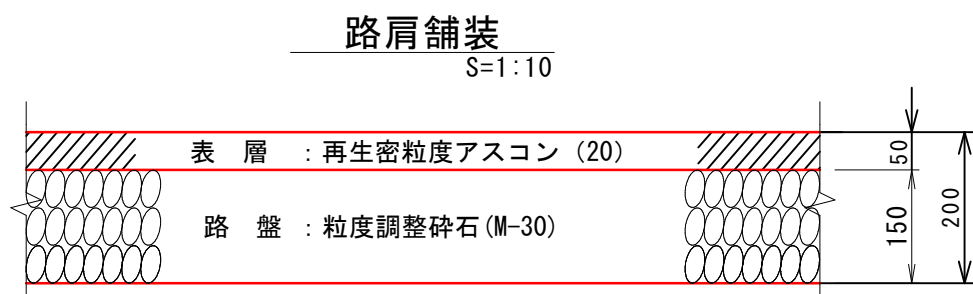
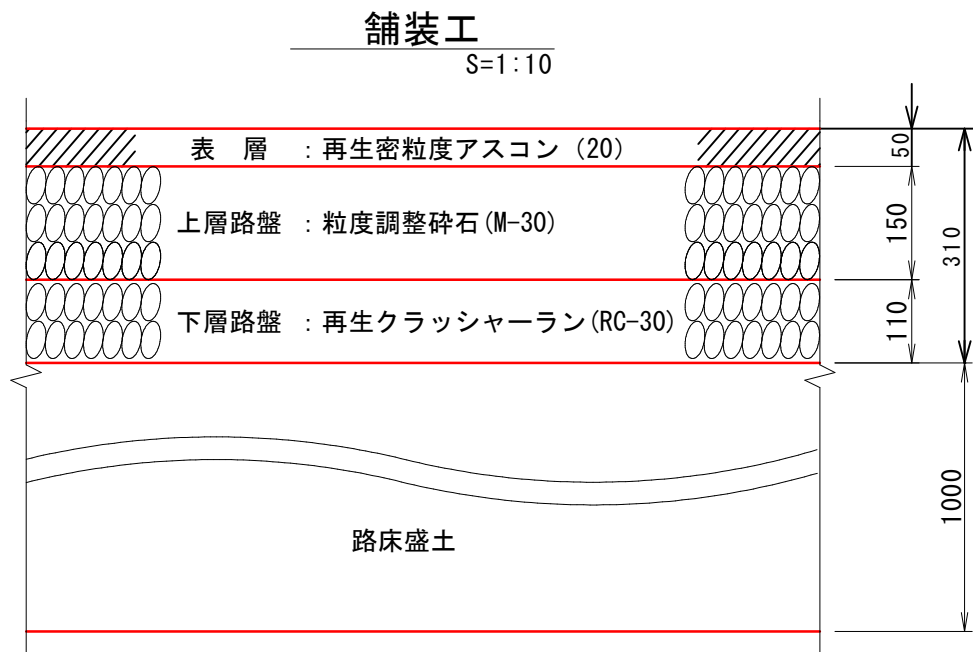
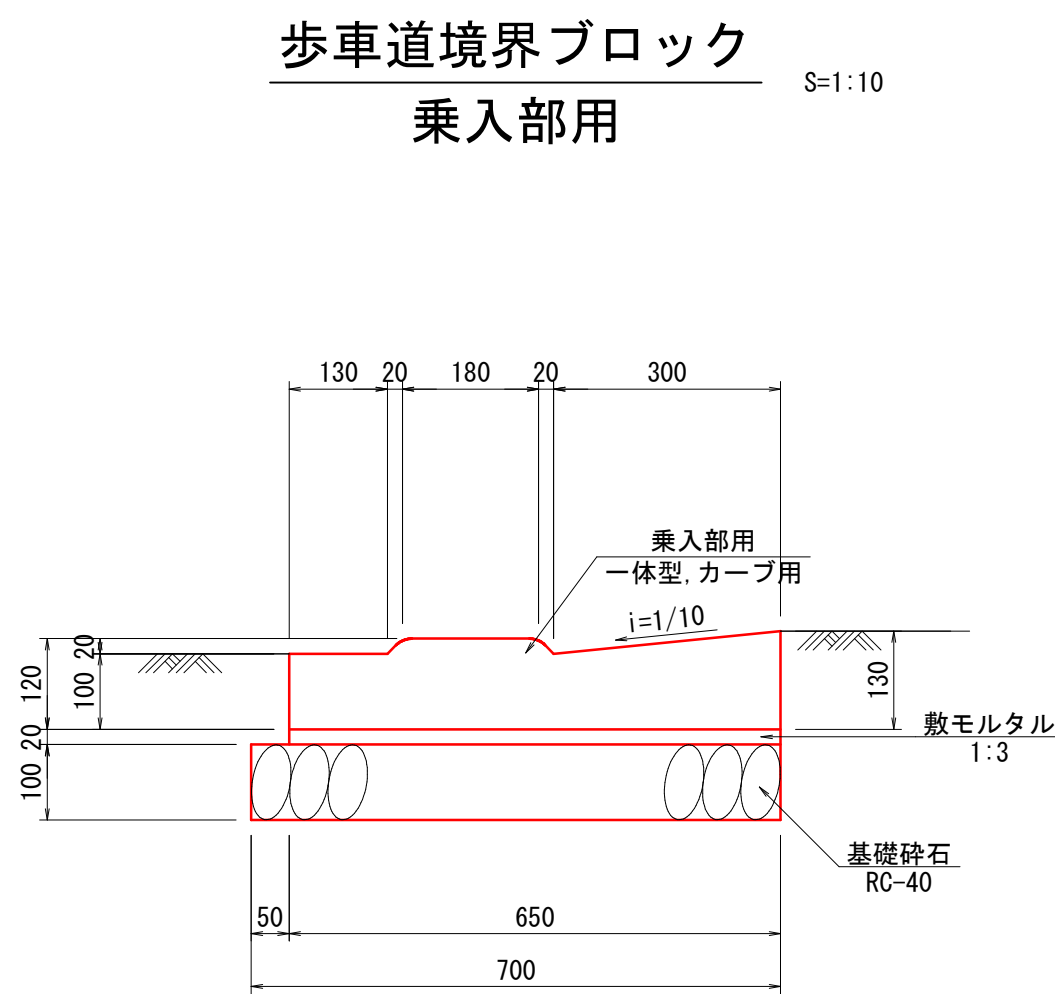
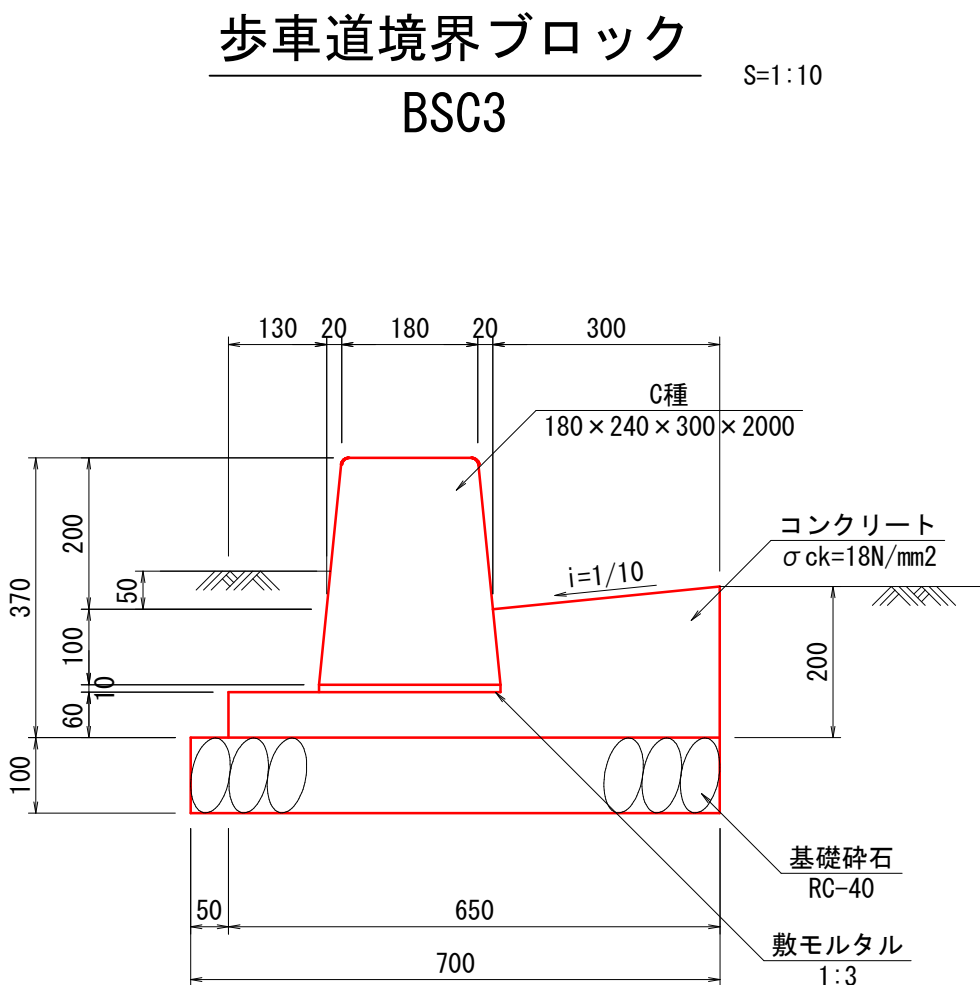


※VUφ50mm程度の水抜孔を1箇所設けること。
水抜孔の位置には、15 cm×15cm程度の透水材（マット）を設けること。



DL=15.00

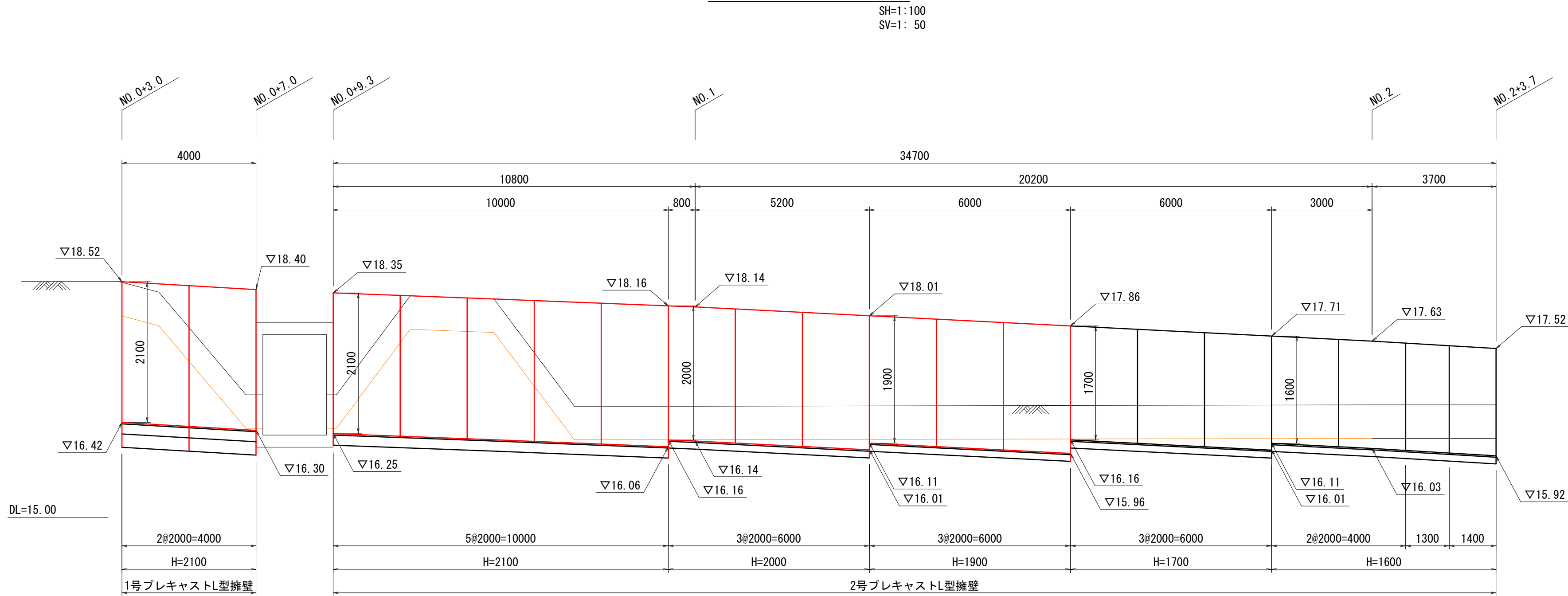
※路肩側溝の流末となる既設側溝との接続部においては、
流下能力の阻害要因とならないよう円滑にすりつけること。



図面番号	第 5 号 7 枚内
工事名	大山広域農道歩道設置工事
図面名称	構造図
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

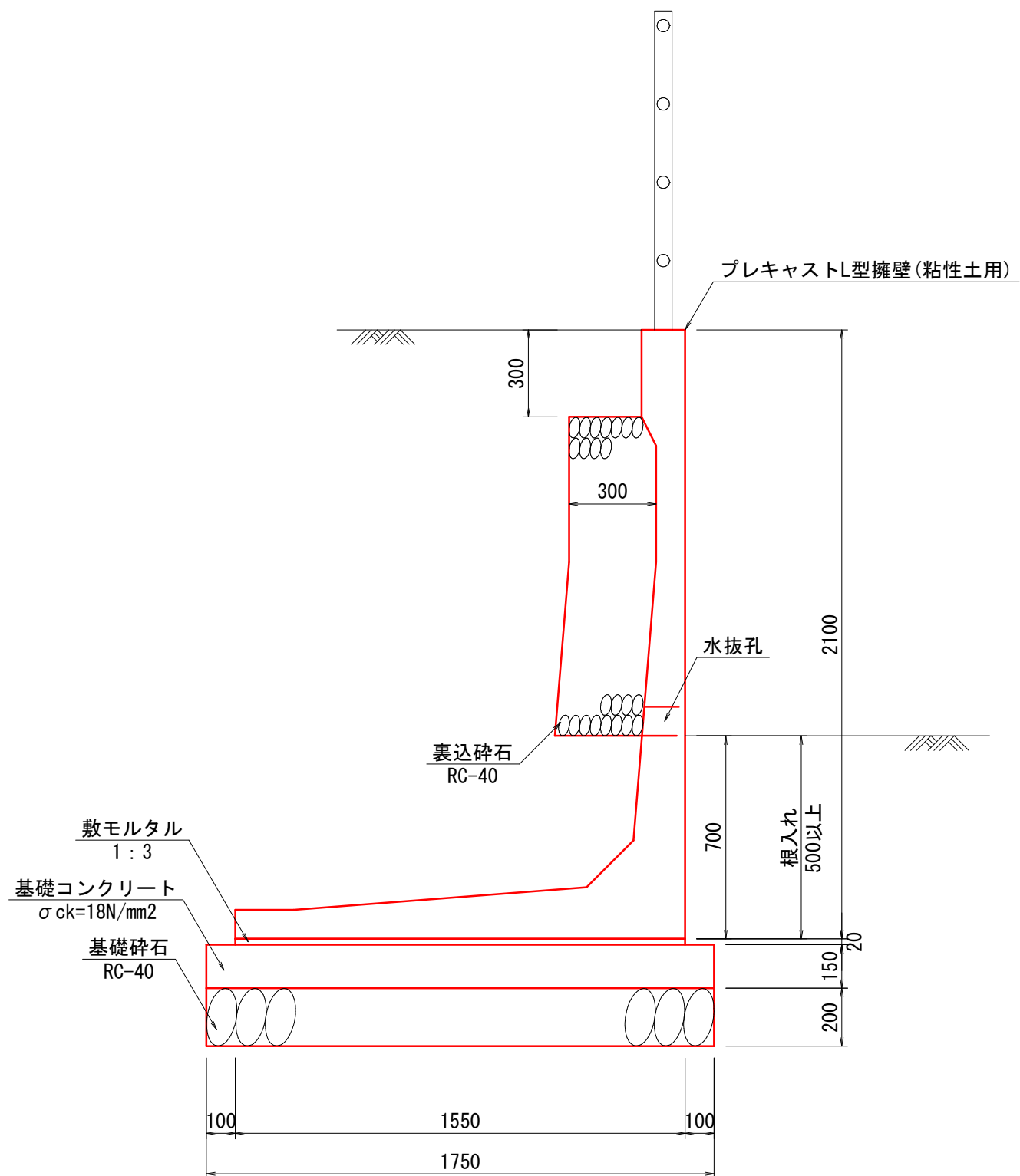
プレキャストL型擁壁 構造図

展開図（参考図）



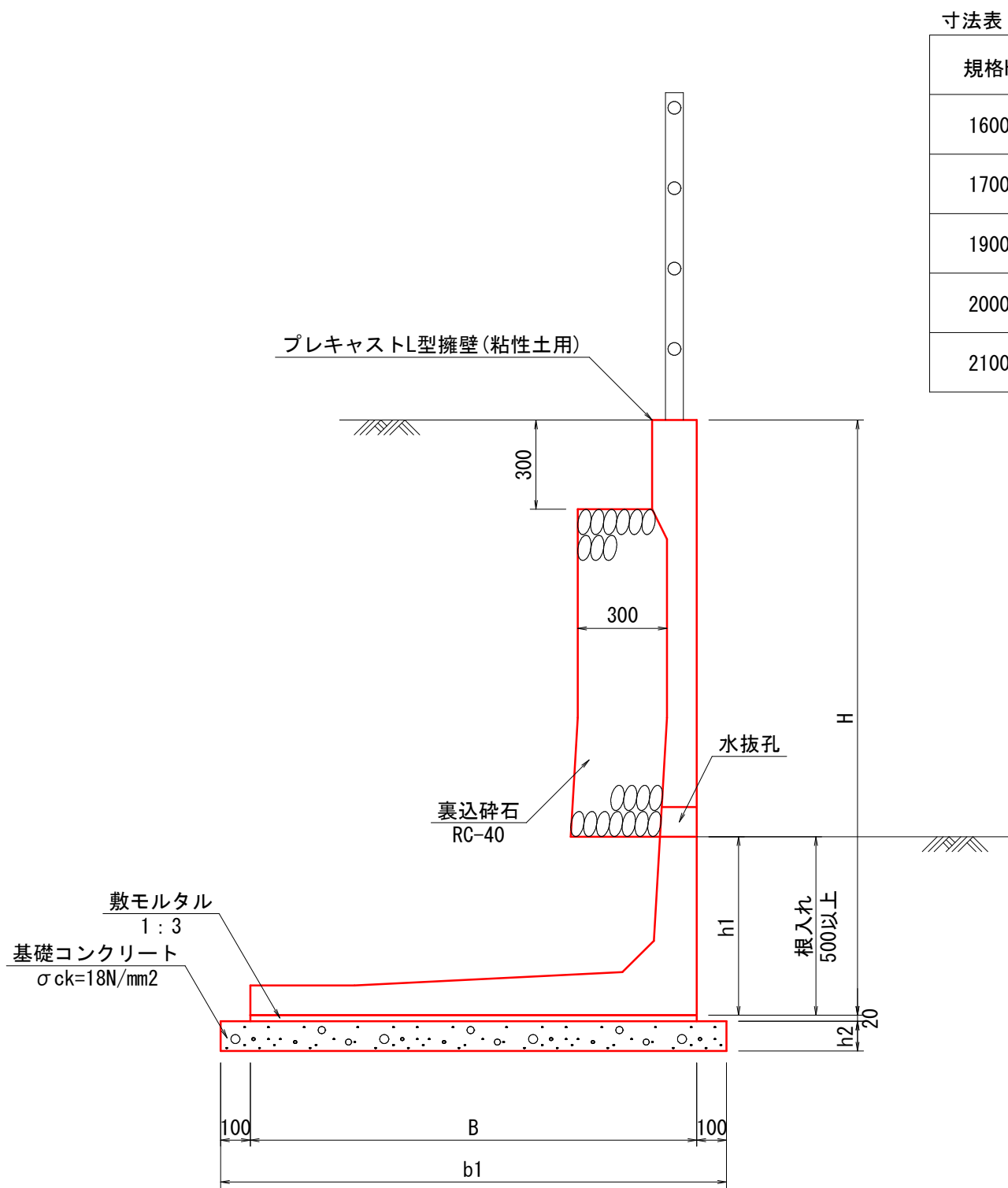
1号プレキャストL型擁壁

S=1:20



2号プレキャストL型擁壁

S=1:20



寸法表

規格H	B	b1	h1	h2
1600	1300	1500	600	100
1700	1350	1550		
1900	1450	1650		
2000	1500	1700		
2100	1550	1750	700	150

2号プレキャストL型擁壁 10m当り数量表					
	名 称	規 格	単 位	計 算 式	数 量
H1900	L型擁壁	H1900, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル	1:3	m ³	1.45×0.02×10.0	0.290
	基礎コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	1.65×0.10×10.0	1.650
	基礎型枠		m ²	0.10×2×10.0	2.000
	裏込碎石	RC-40	m ³	(1.90-0.30-0.60)×0.30×10.0	3.000
H2000	L型擁壁	H2000, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル	1:3	m ³	1.50×0.02×10.0	0.300
	基礎コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	1.70×0.10×10.0	1.700
	基礎型枠		m ²	0.10×2×10.0	2.000
	裏込碎石	RC-40	m ³	(2.00-0.30-0.60)×0.30×10.0	3.300
H2100	L型擁壁	H2100, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル	1:3	m ³	1.55×0.02×10.0	0.310
	基礎コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	1.75×0.15×10.0	2.625
	基礎型枠		m ²	0.15×2×10.0	3.000
	裏込碎石	RC-40	m ³	(2.10-0.30-0.70)×0.30×10.0	3.300

1号プレキャストL型擁壁 10m当り数量表					
	名 称	規 格	単 位	計 算 式	数 量
H2100	L型擁壁	H2100, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル	1:3	m ³	1.55×0.02×10.0	0.310
	基礎コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	1.75×0.15×10.0	2.625
	基礎型枠		m ²	0.15×2×10.0	3.000
	裏込碎石	RC-40	m ³	(2.10-0.30-0.70)×0.30×10.0	3.300

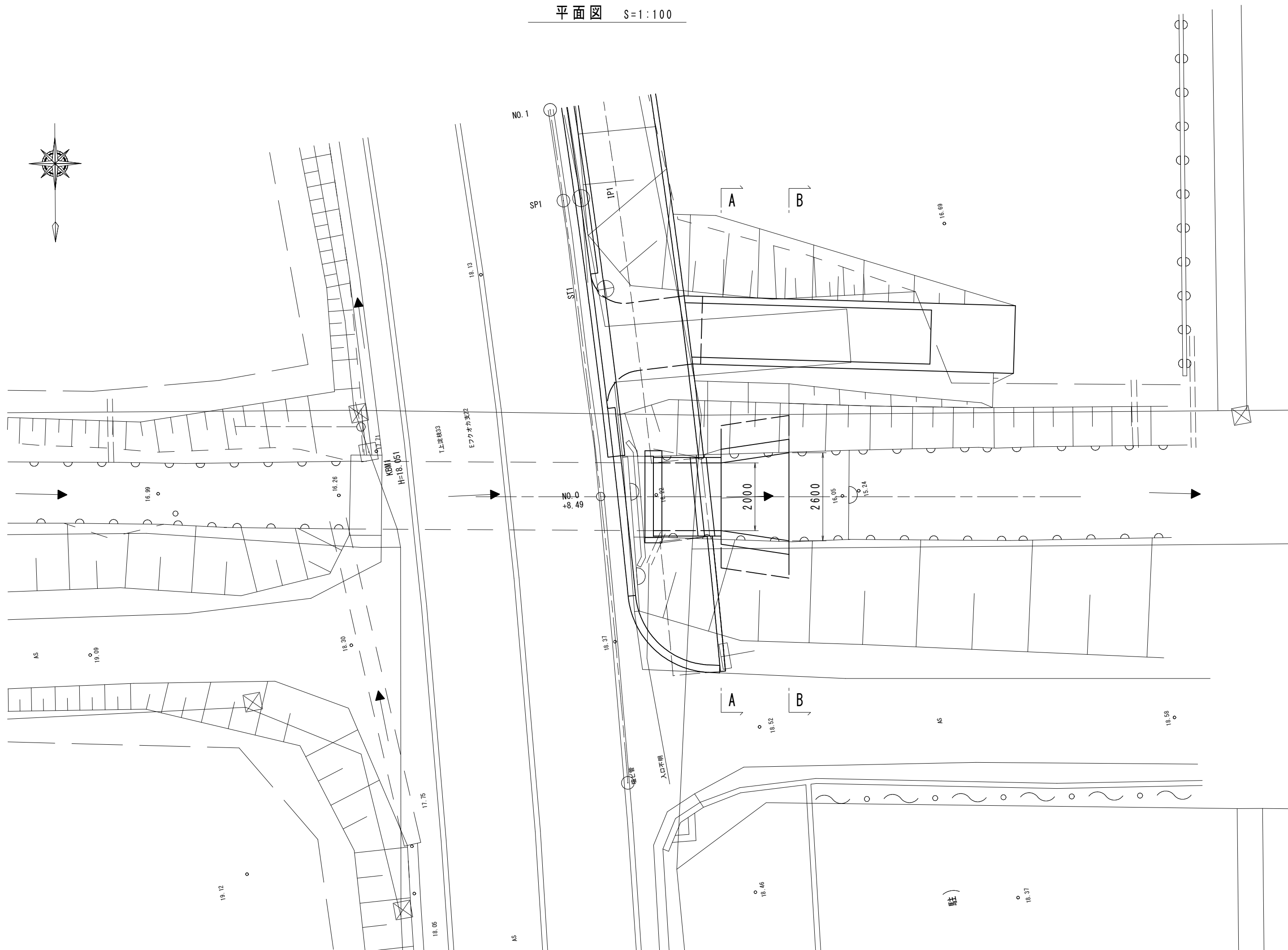
＜留意事項＞

- ・L型擁壁はボックスに対し斜めに接続する。ボックスとの接続部において、必要に応じてL型擁壁の底版のカットを行うこと。
- またボックスとの接続部には吸出防止材を設置するなどにより、土砂のこぼれ出しが生じないよう配慮すること。

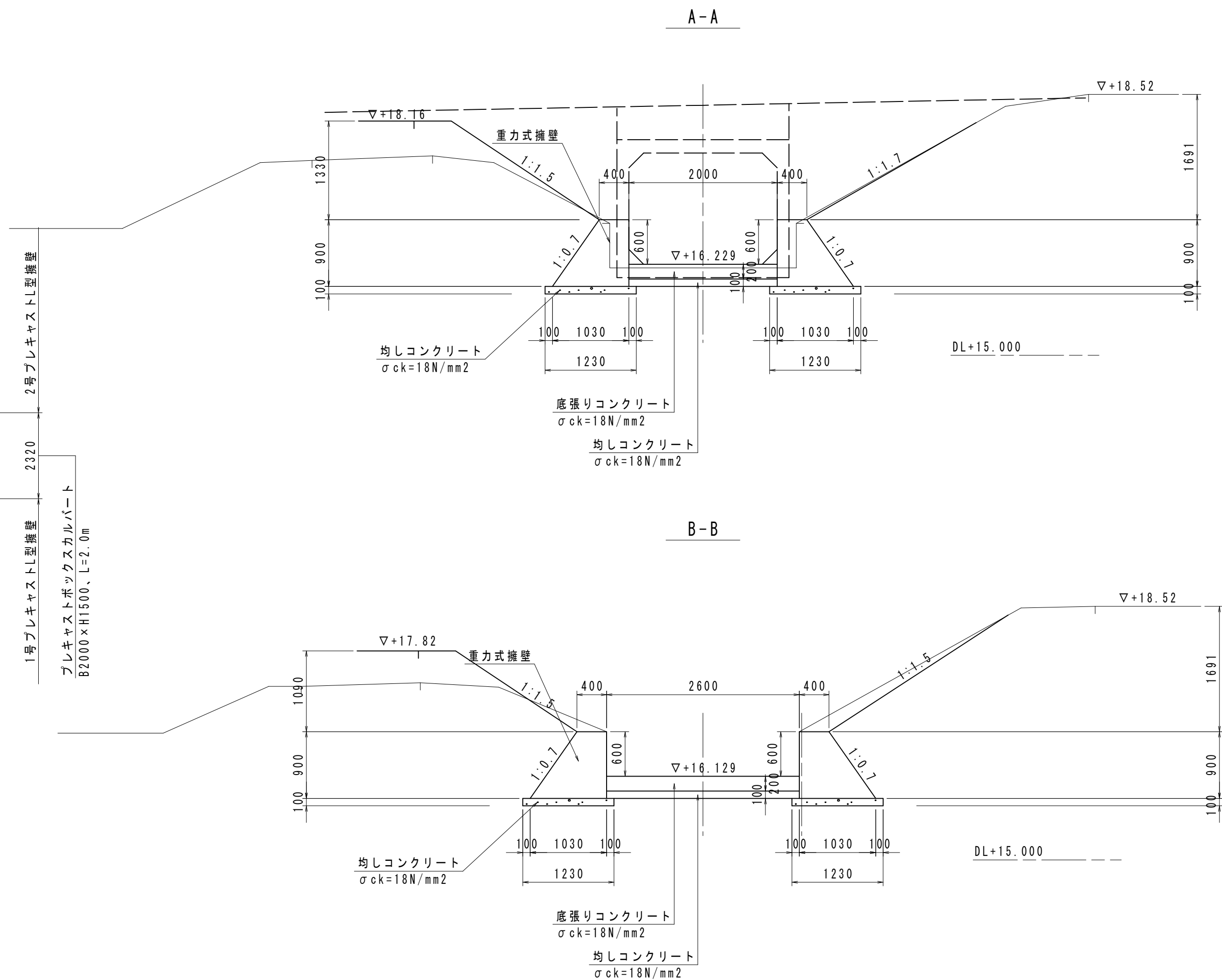
図面番号	第 6 号 7 枚内
工 事 名	大山広域農道歩道設置工事
図 面 名 称	プレキャストL型擁壁構造図
縮 尺	図 示
製 図 年 月 日	令和 年 月 日
写 図 年 月 日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

プレキャストボックスカルバート一般図

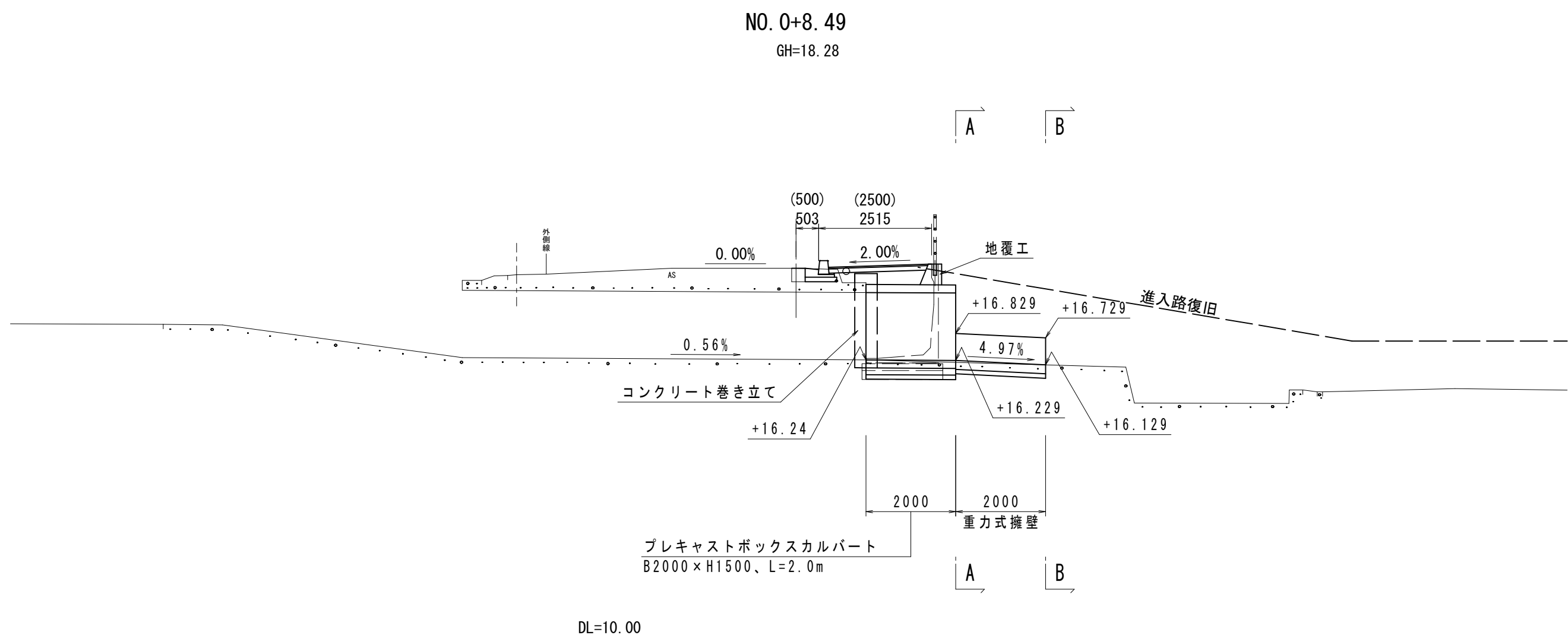
平面図 S=1:100



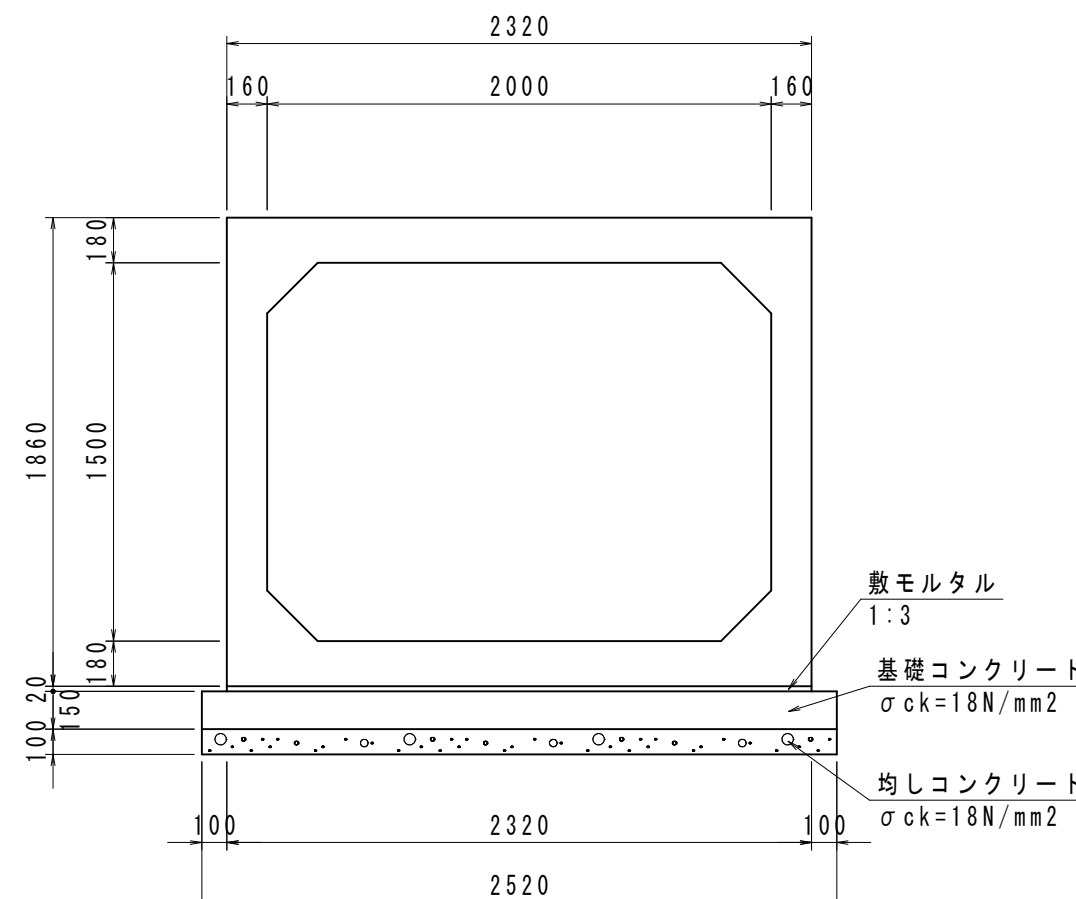
横断面 S=1:50



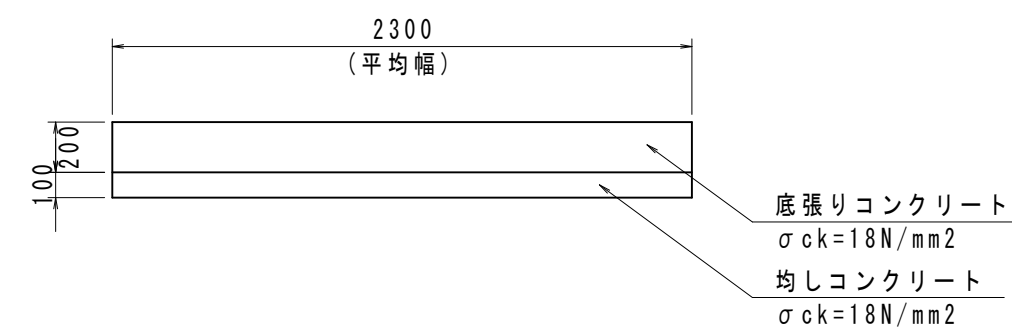
水路縦断面図 S=1:100



標準断面図 S=1:30



底張工 S=1:30



底張工 平均幅計算		底張工		
距離	w	1/2	A	
0.00	2.00	—	—	
2.00	2.60	2.30	4.60	
計	2.00		4.60	
平均幅 W=4.60/2.00=2.30m				

プレキャストボックスカルバート (B2000×H1500) 1箇所(延長2.0m) 当り数量表					
名称	規格	単位	計算式	数量	
ボックスカルバート	B2000×H1500	m	2.00	2.000	
敷モルタル	1:3	m ³	2.32×0.02×2.00	0.093	
基礎コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	2.52×0.15×2.00	0.756	
同上型枠		m ²	0.15×(2.00×2+2.52)	0.978	
均しコンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	2.52×0.10×2.00	0.504	
同上型枠		m ²	0.10×(2.00×2+2.52)	0.652	

底張工 1箇所(延長2.0m) 当り数量表					
名称	規格	単位	計算式	数量	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	2.30×0.20×2.00	0.920	
均しコンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	2.30×0.10×2.00	0.460	

図面番号	第 7 号 7 枚内
工事名	大山広域農道歩道設置工事
図面名称	プレキャストボックスカルバート一般図
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	